

日本原子力学会 核燃料部会
令和5年度第三回運営小委員会議事録

日時 : 令和5年11月6日(月) 13:30~15:45 於 WEB会議(Webex)
出席者 : 佐藤部会長, 尾形副部会長, 逢坂副部会長, 宇田川委員(代理:垣内),
内川委員, 宇埜委員, 大谷委員, 片山委員, 川本委員, 樽松委員, 澤委員,
左右田委員, 園田委員, 高田委員(代理:長内), 鶴田委員, 橋爪委員,
渡部委員, 長嶺(記)

議事

1. 前回議事録等の確認(資料1)
前回(令和5年度第二回)議事録は, 確認済みであり, 配布のみ。
2. 令和5年度核燃料部会業務分担について(資料2)
長嶺から, 委員交代について説明した。新委員となった左右田委員よりご挨拶頂いた。
3. 令和5年度収支実績と令和6年度予算について(資料3)
長嶺から, 令和5年度の収支実績(上期)及び令和6年度予算案について紹介した。
令和6年度の通常予算案について, 委員会開催時点で事務局通知額がないため, 事務局通知額を反映するとともに, 令和5年度と同等の配分で計上することとした。
令和6年度の夏期セミナー予算案については, 現地開催であり, 材料部会及び水化学部会と共催を予定しており, 過去の合同開催時を参考に計上することとした。
4. 企画小委員会の概要について(資料4)
逢坂副部会長から, 10月30日に開催された企画小委員会について, 夏期セミナーの収支等に係る状況他について説明された。
5. 核燃料部会・部会賞(学会講演賞, 奨励賞)について(資料5-1, 5-2)
樽松委員から, 2023年秋の大会核燃料部会(学会講演賞)の選考結果が報告され, 坂口氏, 孫氏の2名を選定することが承認された。
また, 第12回(2023年度)核燃料部会奨励賞の推薦募集の内容について説明され, 承認された。ただし, 運営小委委員からの提案で受賞者のレベルアップを図るため, 過去の受賞者一覧を参考資料として募集要項に添付することとし, 記載については担当に一任することとした。
6. 2023年秋の大会での企画セッションについて(資料6)

橋爪委員から、核燃料部会企画セッションの概要が報告された。核燃料部会報 No. 59-1（2023 年 12 月発行予定）に掲載予定である。

7. 2024 年春の年会での企画セッションについて（資料 7）

橋爪委員から、企画セッションの検討状況が説明され、核燃料部会・水化学部会の合同セッションとして、事故耐性燃料（ATF）開発と水化学の取り組みについて講演及び討論を検討中である旨報告された。座長は 1 名が適切で核燃料部会から座長の選任不要との意見がだされたが、意見があれば担当委員まで連絡することとした。

8. 夏期セミナー（2023 年度報告，2024 年度予定）について（資料 8-1，8-2）

片山委員から、8 月 28 日・29 日に実施した 2023 年度夏期セミナー（現地開催）について報告された。参加者は講師含め 44 名であり、燃料の基礎，記念講演，高速炉関連，核燃料開発への計算科学的アプローチ，事故耐性燃料（ATF），ポスターセッション，および施設見学ツアーで構成実施したとのこと。運営小委委員から、開催内容について核燃料部会員以外に ANS ニュースで周知することの提案があり、次回開催時の検討事項とした。

垣内氏（宇田川委員代理）から、2024 年度夏期セミナーの検討状況が報告された。現地開催（8 月，福岡市）として、材料部会・水化学部会・核燃料部会の合同開催とする計画である。

9. 核燃料部会報について（資料 9）

川本委員から、核燃料部会報 No. 59-1（2023 年 12 月発行予定）の進捗について紹介され、引き続き原稿作成に協力していくこととした。

10. 部会等運営委員会からの連絡事項について（資料 10）

尾形副部長から、部会等運営委員会の議事内容のトピックスとして、2024 年春の年会におけるインボイス制度に伴う年会大会参加料改定，年会・大会の開催循環・開催形態，各部会の繰越金の活用に関する担当理事の意見他について説明された。

11. TopFuel2026 開催準備の状況について（資料 11）

尾形副部長から、準備状況の説明があり、組織委員長は原子力機構の大井川理事に就任頂くことで内諾を得たこと，実行委員長は尾形副部長が務める方向であること，及び今後の予定（会場選定，組織委員会・実行委員会を立ち上げ）について説明された。

12. TopFuel2024 の Technical Committee の選出について（資料 12）

長嶺から、委員選出及び技術トラック分担案を説明し，承認を得た。委員の選出の方法は，個人宛に依頼が来ることもあれば，今回のように各国原子力学

会宛に選出依頼が来ることもあり、特に決まっていらないことに留意してほしい、との指摘があった。

1 3. WRFPMに関するMOUの改訂について（資料13）

逢坂副部長から、MOUの改訂内容について説明され、改訂のポイント（ANFCに関する記述削除、アカデミアの交流に係る文章追加、及びWRFPM会議名称変更）について承認された。文書案について運営小委委員からのコメント反映、及びWRFPMをTopFuelに統一することについて欧州組織に確認し、MOU改訂案を運営小委委員に確認することとした。改訂時期及び内容はTopFuel2026への適用を前提とし、学会事務局に改訂手続きを確認することとした。

1 4. ATFワークショップの協賛について（資料14）

逢坂副部長から、ATFワークショップへの協賛について説明され、承認された。

1 5. 運営小委員会委員の交代について（資料15）

長嶺から、日本原燃の高田委員から長内氏への委員交代の申し入れがあったこと、長内氏の核燃料部会登録後、委員交代に係る手続きに着手することを紹介した。

1 6. その他（資料16-1, 16-2）

尾形副部長から、広報情報委員会ポジションステートメント（PS）ワーキンググループからの依頼内容について報告した。18件のポジションステートメント、及び核燃料部会の管理となっているPS「燃料デブリについて」について各委員にて内容確認し意見があれば尾形副部長へ連絡することとした。

長嶺から、日本原子力学会賞受賞候補者推薦の期限延長について周知した。

次回、第四回運営小委員会は、令和6年2月27日（火）13時30分から開催することとした。

以 上